

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業（園） 永田町小学校・幼稚園の	関係者（卒業校・幼稚園（園）生以外）	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
							永田町小学校との関係						
1				○			永田町小学校の卒業生	○					ワタシの母がドイツから持ち帰ったものを寄贈したものを回収したいです。記念品など飾ってあるところに飾られてと思うのですが。確認したいです！
2				○			永田町小学校の卒業生		○	○			解体の前に内部を公開して欲しいです。卒業生は多いので複数日を希望します。また廃校時から内部に置かれている卒業記念作品の取り出し・保存をお願いします。
3	○			○			永田町小学校の卒業生			○			永田町小学校で使っていた物を残す。 例えば、新しい建物の玄関を入ったところを小学校と同じ内装にする。 下駄箱や休憩場所や支障のない場所で使う机と椅子を小学校の物を再利用する。 新しい建物に小学校の教室や特別教室の内装の部屋がある。 卒業制作や小学校に関する物が置いてある思い出部屋のような部屋を作って、自由に入出りできるようにする。 AIを使って小学校を完全再現して、パソコンやVR機器で見られてグーグルマップのように歩いて見ることができる。
4				○			永田町小学校の卒業生				○		母校が解体され無くなってしまうのは、とてもとても悲しいです。永田町小学校は自分の原点でもあり、いまでも心の拠り所であり、ふと立ち歸りたくなる場所でもあります。このまま校舎を活用する方法はないのでしょうか。。どうか再考いただきたいです。
5	○	○	○								○		区民が年齢問わず立ち寄れる施設にしてほしい。特に子供たちや若い世代のためにはスポーツ関連、学習スペースとして。今ある千代田区スポーツセンターがより立ち寄りやすくなったイメージです。 スポーツセンターもかなり老朽化が進んでいるので新しいスポーツ施設が必要だと思います。最近、他の区と比べると千代田区としてはもう少し良い建物、良い施設にできないかと残念に思います。例えば墨田区の総合体育館などが理想ではないかと思う。 また、永田町は以前に比べてここ数年で家族世帯も増えていると思いますが、生活の拠点となりような区の施設が少ないエリアです。永田町を単に政治の街だけにするのではなく区民が活動できる拠点を永田町にも増やして欲しいです。
6				○			永田町小学校の卒業生	○	○				お願いしたいこと ◎解体前に中に入れる機会を作って欲しい ◎卒業制作など中に残っているものを引き取らせて欲しい ◎学校を開放していただける際は1日ではなく一定期間設けて欲しい 遠方のためすぐに駆けつけられないので ◎最後の1日にはお別れイベントを開催して欲しい 以上よろしくをお願いします
7	○				○		小学校■年の時に永田町小学校が廃校になりました。先生も友達もとてもよかったので、転校した先の小学校ではなじめませんでした。永田町小学校のままだが良かったな。と考えていたのを覚えています。				○		現在、千代田区内の小学校は不足している状態にあります。新たな活用方法が「新しい小学校の建設」であればともかく、目的も決まらないのに現在の建物を性急に解体するのは反対です。できれば昭和の名建築の一つとして有形文化財として保護していただきたい。 そして保護するだけでなく、これまでに麹町中学校など他の学校の建て替え時などに臨時校舎として使用された実績も踏まえて、必要な改修や補強等行い、再び小学校として活用することを検討してもらいたいと思います。
8						○			○				教育資料、特に学校建築に興味を示しております。 解体予定の校舎に、歴史ある鉄筋コンクリート校舎が含まれるということで、是非とも見学する機会をいただきたく思います。 近隣の例としては、台東区では坂本小学校や下谷小学校など、やむなく解体となった校舎を見学できる機会がありました。永田町小学校も同様に、一般に見学できるよう取り計らっていただきたく、よろしくお願いします。
9	○			○			永田町小学校の卒業生			○			毎日通った思い出の校舎がなくなるとするのは大変残念。でもあの場所は卒業生だけのものではなく住民全員のものだと考え、全住民のためになる活用はやむを得ないし、そうしたほうがいいと思う。その分、校舎にある写真や資料は大切に保存してもらいたい。例えばホームページなどに載せていつでも誰でも見られるようにするとか、デジタル化をして公開するとか、校舎の中の写真を展示するとか、当時最高水準の学校があったことを後世に残してほしい。

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)永田町小学校・幼稚園の	関係者(卒業校・幼稚園(園)生以外の)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
10				○				○					前略 私は、昭和■年に永田町小学校を卒業した■回生です。10月23日の朝日新聞・朝刊で、永田町小学校の校舎の解体が決まったとの事です。永田町小学校への思いは深く、東京生まれの私にとって懐かしい「故郷」そのものです。父が、旧駐日ドイツ大使館に勤務していたため館舎から永田町小学校まで5分位の距離でしたので、兄と妹もお世話になりました。閉校後、創立100周年の行事にも参加させて戴きました。余談ですがその兄も■年前に■大学の名誉教授の俤、死去しました。永田町小の思い出としては、シュペルトの「魔王」のレコードで聞いた音楽室と真篠先生、等身大の人骨模型が展示され、気味が悪かった理科室の前、粘土で茶碗を焼いた図工室と佃先生、真冬に、イチヨウの葉を煎じたためるま湯で手を浸して「しもやけ」の治療をしたり、毎日「肝油」を戴いた衛生室と古谷寿美子先生。数えあげればキリがありません。そこでお願い致したいのは校舎を解体する前に出来るだけ早い日に、「お別れ会」のような場を校舎の中で開いて戴けないでしょうか。卒業生も50歳を過ぎた方ばかりかと思しますので、早急にご検討戴きますよう伏してお願い申し上げます。
11	○				○						○		日本の建築界を支えた重鎮で、東大内田総長の師でもある(と都市計画家の先駆け高山英華先生がおっしゃっていた)建築構造家かつ教育者「佐野利器」はじめ、教育に携わる偉大な先人の諸先輩方が、それぞれの立場から理想像を思い描いて、喧嘩しながら全力でつくりあげた貴重な建築と思います。 公共の教育機関として世界にアピールする場等、これまで日本政府がJICA等の活動で長年支援してきた新興国の国々と先進国が、協力力を発揮する力を生み出す本拠地がこの場になれば！素晴らしいと、今まさに宝になりうるのではないのでしょうか。世界中、唯一無二の場になります。
12				○								○	永田町小学校・幼稚園は、 1 貴重な価値のある建築物であり、関東大震災後に東京市が建設した復興小学校・改築小学校の集大成になる校舎で千代田区の重要な文化財です。千代田遺産にも挙げられています。 2 現校舎は88年の歴史ですが創立は1908年で百年を超えて117年（2025年時点）の長きに渡り多くの人材を育てて来ました。斯うした貴重な歴史を景観という形で保存して後世の石杖・礎にしようとする取り組みは、京都市等日本各地にあるだけでなく、世界各地に見られます。無傷で残る文化財を、後世にリレーし渡すべきだと思います。 3 廃校になるまでは、多くの海外要人・著名人が訪問して、我が国の理解や国としての情報発信に役立って参りました。アメリカ始め各国大統領・夫人、芸能人マイケルジャクソンなど、国際交流の大切なシーンの舞台を消し去り002に変えて排出することに意味があるとは思えないと感じます。 4 今は解体と保存活用のメリットデメリットをきちんと判断するために、ヒアリング・調査・必要な検査等の予算を立てて、千代田区として間違いの無い判断を可能とするように進めて戴くよう、心からお願い致します。
13	○	○	○								○		私たちの通ったところの小学校は、壊されたり、そのあとの土地は売られたり、みな無くなってしまいました。どれも、戦災を生き延びた貴重な建物であり、先輩たちから相続した大事な財産でした。奇蹟的に残ったのですから、永田町小学校は、壊さず改修して利用してもらいたいです。街並みの維持継承は、先進国の証しです。ヨーロッパ見てください。スクラップアンドビルドは途上国の発想です。北京や上海みたいにしてみたいくないです。個人的意見ですが、ご検討いただきたくお願いします。
14						○					○		関東大地震による被災ごに作られた小学校の、なかでも数少い小学校建築でもあり色々な歴史を刻ん出来た、建物であるので、何かしら活用ができれば、よいのでわ
15						○		○					解体前にぜひ見学会を催していただきたいと考えています。また、特徴的な部材(タイルなど)は、本校に思い入れのある皆さんに配布してはいかがでしょうか。手間ひまもかかると思いますが、有償でもよいと思います。
16						○					○		あんなにかわいい小学校なのに、日本の中央に位置して、かつての日本人が子供に託した思いがどれほどかと思います。いまさらあの辺りを開発して商業施設を増やしたところで、人口が減っていく中でこのあと、小学校の建物の長さ分繁栄できると思いません。小学校の階段はユニバーサル建物に合致するので、再生利用活用の幅が商業施設より広いので、もっと考えるべきだと思います。なんなら政治家のホスピスにしてはどうかとおもうほどです。

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)永田町小学校・幼稚園の	関係者(卒業校・幼稚園以外)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
							永田町小学校との関係						
17	○											○	区は「旧永田町小学校の解体」を前提に「旧永田町小学校関係資料の取扱い」についての意見を求めているようですが、以下の点が欠けているように見受けられます。 ・区は令和2年3月に「千代田区景観まちづくり計画」を制定し、その第2章 景観まちづくりの目標では目標1として「江戸からひきつがれたまちの歴史的構造を活かす」、細目として「多様な景観資源を活かす」と謳っています。 他方で、公開されている「区有地等活用検討会」や区長も出席している「首脳会議」の議事録には前述の計画との整合性に触れた箇所は見受けられません。 ・区が計画との整合性チェック事前に行ったのかは不明ですが、仮に行っているなら議事録の公表を、仮に行っていないのなら当然行うべきと考えます。
18	○										○		欧州の古都が歴史的建造物を維持・保存し、街の美観を整えていることに感心している者です。歴史が浅い東京に残すべき建物が多々あると思います。旧永田町小学校は堅固かつ価値のある建物で耐震補強により再使用が可能な建物と理解しております。是非、叡智を集め建物の保存、再活用の道を探って頂きたいと存じます。
19	○										○		永田町小学校解体に反対します。 耐震補強しての保存を望みます。 理由は 1)戦前の貴重なコンクリート建設の建物。 2)一部耐震補強すればまだ十分に使える建物である 3)物価高で建築費が高騰している中、次の使い道もはっきり決まっていないのに、壊して更地しておくのは勿体ない。 耐震補強して、使いながら、もしより良い活用方法が決まったなら、その時に初めて解体の議論をするべきだと思います。
20				○			永田町小学校の卒業生				○		小学校■年生まで永田町小学校に通学しておりました。子供にはあまりわからない事情（統廃合）で学校を移ることになりました。■年ではありましたが、趣きのある校舎に愛着はありましたし、大人になり、自分の小学校を振り返る中で文化的な価値があることにも納得はしました。 壊すことは簡単ですが、同じような価値のある物を生み出すことは難しいです。残す余地があるのであれば再検討よろしくお願いします。
21						○	兄が永田町小学校の卒業生				○		旧永田町小学校の建物存続を望みます。 理由は、以下の3点です。 ①千代田区は校舎の価値の検討をせず「価値がない」と断定した根拠が「文化財に指定されていないから」のみであること。 ②「危険」であると断定した根拠が平成10年に千代田区が委託した耐震診断の結果であり、この診断書は鉄筋の状態まで調査した精密診断だが、コンクリート強度など全てにおいてA判定で、一部弱い箇所は耐震補強を勧めていること。 ③建築費の高騰で、再開発が中止になっている社会情勢を考えると、既存建物を活用する道を選択することが得策であると考えられること。 以上です。 一例ではありますが、世田谷区での廃校利用では、存続させることで他では叶わない出店、出展が実現し、結果、地域交流、地域活性を生み出しているのを見るにつけ、歴史ある永田町小学校校舎を解体させるのは大いなる損失と思わざるを得ないと考えます。 再考されることを強く望む次第でございます。
22				○			永田町小学校の卒業生				○		永田町幼稚園と永田町小学校の卒業生です。永田町小学校を卒業したという事をとても誇りに思っています。今でも校舎内の造りは覚えていますが人生の中で一番思い出深い8年間でした。閉校してしまった時は残念でしたが校舎はずっと残っていたのでたまに想い出に浸りに見に行っていました。 歴史がある校舎なのでどうか解体しないで今の姿を残したまま区の施設として残してほしいです。 岸田元首相を始め議員関係の卒業生もたくさんいらっしゃるし、実業家の方々もたくさんいらっしゃると思います。その方々からも寄付を募り（人任せですが…。）耐震対策をし維持してください。 新しい区の施設として活用されたら入場料を払ってでも良いので今は区外の私も出来れば中に入りたいです。 どうか宜しくお願い致します。

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)永田町小学校・幼稚園の	関係者(卒業校・幼稚園以外)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
23		○				○				○			日本の中心地の土地を放置するのは民間ではありえないでしょう。こんなことから行政は無駄遣いばかりだと言われる。会計検査院は指導しないのだろうか。使えない建物を何十年も税金使ってただ管理するだけで、年に百万だとしても10年間で1千万もの税金を無駄にすることになる。普通の感覚で考えてもらいたい。物価高で苦しめる庶民の生活をもっと考えてほしい。今さら議論なんていつまで無駄遣いを続けるつもりか。一刻も早く対処すべき。
24	○							○	○	○			知人から学校を解体すると聞きました。知人は解体することが良いか悪いかわからないと言っていましたが、私は区役所が言っている、住民全体の財産を住民のために活用したいという考えは普通のことだと思います。千代田区は土地が少ない値段も高くても少しも無駄にできないというのも分かります。子供達が遊ぶ場所も無くて、私達のような高齢者もどんどん増えています。できれば広場と高齢者住宅を作ってほしいと思います。学校の資料は資料室に保管されているとのことなので、定期的に日比谷図書館で展示をして公開すればいいと思います。壊す前に見学会をしてもいいのではないのでしょうか。
25			○								○		1. 約30年前、人口減少が続いていた千代田区では「公共施設適正再配置構想」と記憶している。以下“公適配”)”という考え方の下に、区内小学校の統廃合が行われたが、その後人口は増加に転じ、今では一部の小学校では教室が不足して図書室までもが教室に転用されたり、区役所出張所の一部を使用していたり、という状況とのこと。そのような状況なら、旧永田町小学校の建物を解体するのではなく、必要なら耐震補強などを行った上で、有効活用することを検討すべきではないか。 2. それに、旧永田町小学校の建物は文化的価値があるのではないか。公適配のことを思うと、千代田区の行政に長期的視点はやや不足しているのではないかの懸念を抱く。
26				○					○				永田町小学校には、世界中からたくさんの方々が来校されております。その方々から頂いたプレゼンやその時の様子の写真などは現在どこにあるのでしょうか？私が在学中にはマイケルジャクソンさんが見えてみんなで記念撮影、サインも頂いた記憶があります。また青年海外協力隊のメンバーとしてホンデュラスに派遣され現地で亡くなられた小林先生に関連するコーナーは平和とは日々の大切さをするきっかけになりました。国際親善をととても盛んな学校だったのでそのような資料がたくさん保管されていたと思います。国際親善ルーム？という教室があったとおもいます。現代本当に、永田町小学校があったとき以上に国際色豊かになっています。それらの資料をみなさまに公開することでもっと世のためにならないのでしょうか？
27						○					○		私はヘリテージマネージャー養成講座にて永田町小学校の実測実習に参加した建築士です。実習に際しては、当時の斬新で高性能な設備、随所に特徴的な意匠も見られ、オリジナルの金物が残っていたりと、都心部に残されている貴重な遺構だと感じました。また、養成講座では小学校の実測のみならず、受講者それぞれが小学校の再利用計画を検討し発表を行い、そこでは建築士による様々な案が提出されました。このたび区が解体を決められたことは大変遺憾です。震災復興期に千代田区に建設された、すぐれた小学校の遺構として、耐震補強を行い、活用プログラムに見合った改修のうえ保存活用することが、現代における地域資産の継承方法として望ましいと考えます。小学校の建物は規則的な柱割と十分な階高があり再利用の自由度は高く、また運動場を建物用地として活用することも可能であり、再利用の選択肢の幅は広いと考えられます。昨今は既存建物の運用を含めた事業体によるコンペを催し実現した自治体もあります（伊賀市にぎわい忍者回廊整備PFI事業、市は事業者へのサウンディング調査をふまえ事業募集を行ない事業者を決定。新築と改修のふたつの事業がセットとされたのが特徴。）。後世にすぐれた建物を継承するために、ぜひ再検討をお願いいたします。
28	○			○					○		○		安全面の懸念や、維持費の増加といった問題点も理解できますが、活用方法の具体的なプランのないまま解体ありきという方針には賛同いたしかねます。区内の国立劇場の建替も難航しており、関係資料の保全には慎重に取組んでいただくことを希望いたします。
29	○			○							○		そもそも建て替えを決められたということですが、番町小学校の建て替え時の仮校舎は決まっているのでしょうか？永田町幼稚園で学び、千代田区にずっと暮らして現在3人の子供を10年以上番町小に通わせている（一人は卒業）親として、現在の古い番町小は大丈夫ですが、麹町小や九段小などは生徒数が増えすぎて教室が足りなくなっているのは千代田区としても把握されていると思います。少子高齢化・人口減少社会がよく言われますが、東京都や千代田区においてはまだまだ人口は増え続けることはご存知のはずです。小学校が足りなくなるといった状況がまだまだ続くと思えた方がよい（番町小も建て替えられたら九段や麹町のように人気が出るのでは？）と思われますが、そうした流れに対応する策はしっかりと練られているのでしょうか？永田町小学校は新聞記事で見ましたが、「震災復興小学校」として大変貴重な建造物であるとのこと。このような校舎を保存して活用する方策を全く考えることなく、壊してしまうのは反対です。また、建築費が驚くほど高騰している中、既存の建物で活用できる場所を活用していかないと、お金がいくらあっても足りなくなってしまうと思います。

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)永田町小学校・幼稚園の	関係者(卒業校・幼稚園(園)生以外)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
30	○	○		○							○		校舎建物の解体を前提とした上での意見照会（跡地活用及び資料保存について）に違和感を覚えております。 建物の持つ歴史的・文化的価値にも着目しての、建物自体の保存の可否についても、関係者から広く意見を募集して欲しく存じます。 それから、この度の永田町小学校に関する意見照会につき、区民への周知が十分ではないように思います。まず広報千代田、10月20日発行号には記載がありますが、11月5日発行号には記載がありませんでした（意見照会期間中であるにもかかわらず、重ねての呼びかけをしないのは、不親切だと思います）。次に、街中の区の掲示板に張られているお知らせには、「留保財産の活用」について意見照会中である旨のみが記載され、永田町小学校の名前が出てきません。 疑いたくはないのですが、区民や小学校関係者にあまり知られないような形で校舎解体を行いたいのではないかと、と勘繰ってしまいます。 跡地活用や資料保存以前に、校舎解体についての周知が足りなかったり、校舎保存の可否について十分な議論がなされないまま、貴重な建築物ともいうべき母校の校舎が解体されてしまうのは、卒業生として納得できません。
31	○			○							○		○歴史的価値のある永田町小学校旧校舎は解体しないで、資料や記録はそのまま保存すればよいと思います。 まだ区議会にもはかられていない旧永田町小学校の活用について既に解体が決まったかのように行政が誘導するのはおかしい。 ○今千代田区の人口は高層マンション等の増加で増加し、麹町小学校の教室が足りなくなっている。行政の方は「大丈夫です。大丈夫です。図書館を教室にしますから。それで足りなくなったら、麹町区民館の部屋もありますから大丈夫です大丈夫です」とおっしゃいましたが、これは大丈夫という状況ではなくて、現在教室が足りない状況と判断するのが妥当でしょう。だとすれば閉校して使っていない旧永田町小学校の校舎を使うのも選択肢の一つです。 一度閉校した学校を再び再開するのは手続的にものすごく面倒だという話は聞いた事があります。どの位面倒かはわかりませんが、面倒でも再開する価値があると考えます。 ○旧永田町小学校の耐震性について 日本大学理工学部建築学科空間構造デザイン研究室の見解によれば、旧永田町小学校は補強を要する建物と判定されているが、材料は健全であり、壊すしか手立てがない状況ではない。と言っています。 ○旧永田町小学校校舎は、①文化財価値②先駆的モダンイズム建築で建築物としての歴史的価値という2つの価値があります。ですから千代田区の財産として今後も持ち続けて活用して頂きたい。 ○よって、資料や記録はそのまま旧永田町小学校校舎に保存すればよいと考えます。時間をかけて整理すれば良いと考えます。 以上
32	○	○									○		永田町小学校校舎は、昭和12（1937）年、東京市建築課の設計により、耐震、耐火、採光、換気、衛生に考慮し、先進的新教育の場として竣工した鉄筋コンクリート、一部鉄骨造、地下1階、地上3階建ての校舎である。大正12（1923）年の関東大震災により東京市117校の木造校舎が被災焼失し、東京市では罹災した小学校を全て鉄筋コンクリート3階建ての同規格基準で順次建て替えを行い、その財源の区分けから「復興小学校」と呼んだ。全ての「復興小学校」の建て替えが終わった昭和6（1931）年からは、罹災しなかった木造小学校の建て替えに着手し、「改築小学校」と呼ばれ、「復興小学校」と同じ東京市建築課により、同基準で設計され、合計170校になる。当校はそのうちの1校で、すべてを備えた最後の「改築小学校」で、東京市戦前小学校の集大成といえる。中でも当校は他の小学校校舎以上の設備を備えていたことが注目される。東京市の設計ではすべての小学校に石炭ボイラーによる蒸気暖房が設置されていたが、当校は全館に床暖房設備を備えた唯一の公立小学校であった。当時こうした床暖房設備が設置されていた校舎は私立の山脇学園（現存しない）と慶応幼稚園（現存）だけであった。また竣工時から地下室に給食室が設けられ、電動リフトで配膳したこと、体育館と講堂が別に設けられていたこと、外気教室を設けたことも特別であった。体育館と講堂を別に設けたのは東京市では3校だけで、現存する中央区泰明小学校もその一つだが、2階席ギャラリーや映写室を備えているのは永田町小学校だけであった。 昭和11（1936）年に建築された国会議事堂を屋上から間近に望む永田町小学校の校舎は地域からも期待され、多くの寄付が集まった。当時世界的なデザインの潮流であったインターナショナルスタイルの建築として、玄関から校庭に出た部分の丸柱の立つ「ピロティー」、その上部の曲線を活かしたバルコニー、音楽室の全面ガラス、光が降り注ぐ階段室、地下手工室（工作室）の大胆なアーチ梁構造、鉄骨とRCの混構造による天井の高い屋内体操場（体育館）と講堂の縦長の大胆な窓など、当時最も先進的だったデザインを余すところなく取り入れ、道路の高低差と不整形な敷地という特殊な条件を巧みに活かした設計は当時でも優れた建築といえる。 教育施設として再利用すれば、改修費用も抑えることができる。体育館はボルタリングなどのできる場所として開放してもよいし、映写室を持つ講堂はミニシアターとしてもよい。 この校舎を解体するという千代田区の宝物を失ってしまう行為 まずは解体前提の意見募集をやり直し、保存活用方法を区民で話し合うべき。 その結果、解体するにしても、保存活用するにしても、実測調査を行い、まず記録を作ることが大事。

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)永田町小学校・幼稚園の	関係者(卒業校・幼稚園以外)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
33	○										○		永田小学校は千代田区民にとって大切な財産。むやみに建物を取り壊すことなく、復興小学校として建物を保存していただきたい。次の計画が明らかになっていないのに解体する必要はない。現存の建物を有効利用することを望む。
34						○					○		戦前から東京に遺る学校建築はそれ自体に文化財的価値があり、再生・活用法によっては唯一無二な利用価値を生む貴重な観光資源でもある。解体ありきの結論を急ぐのではなく、全方位的に何が最善かを探っていただきたい
35			○								○		この意見募集は解体が前提ですが、当校舎の歴史的文化的価値を鑑みると、「解体」の前に区民や建築家、教育界の意見を聞く必要があると思います。解体後の利用も決まっていなくて、解体を急ぐ理由はありません。時間をかけて検討すべきです。耐震補強を行なって、文化的な施設に整備、保存出来ればベストだと考えます。
36	○										○		千代田区内に現存する復興小学校は、永田小学校のみとなりました。この校舎は、歴史的・文化的・建築史的観点からも極めて高い価値を有しており、地域の記憶とアイデンティティを象徴する貴重な建築物です。 しかしながら、行政の一存によってこの建物を解体する計画が進められていることは、極めて遺憾であり、区民の理解と合意を欠いた暴挙といえます。日比谷のステップ広場の無料賃貸に関する議会での議論においても、こうした行政手法の問題点が指摘されています。 現在、全国的に再開発からリノベーションによるまちづくりへと舵を切る流れが主流となっており、歴史的建築物の保存・活用は地域の魅力向上と持続可能な都市形成に寄与する重要な手段です。永田小学校校舎も、地域資源として再評価し、保存・活用する道を模索すべきです。
37	○					○	1) 復興・改築小学校等の研究者(帝都復興事業の研究) 2) 麹町小・番町小・永田町小の進学先たる麹町中学校の卒業生。日比谷高等学校の卒業生。		○		○		1) 遅滞きではあるが、当該小学校建築は、旧神田地区の復興小学校校舎群、旧麹町小学校校舎等の滅失、旧九段小学校のキメラ保存などを経て、区内において重要な建築物となった。建築物自体、学校改廃の経緯、周辺の知性・環境・景観などに鑑みて、安易な解体や再開発には極めて慎重な態度を要する。 2) 当然、学校関係、建築図書関係(経緯関係)などは、文化財に相当する第一級資料であって、これを徒に、分散・散逸・毀損・滅失させることは許されるものではない。 3) 上記を蔑ろにすれば、千代田区行政に対して、広範に、強い批判が殺到する懸念は小さいものとは言えず、軽率な行為は努められたい。むしろ、千代田区の先進的な学校教育史の記念館・記録館・一括記録(各項所存の体系的な複写の保存を含む)の確信とすべきであると考察する。もはや、つまらぬ、目先の利益をのみ追う再開発のありようを、区行政が率先・支援するが如きは望まじからず、区政百年の展望を以てことに当たられることを切望する。
38				○					○				復興小学校の貴重な事例と伺っています。今後増えていく文化財相当のRC建造物として、丁寧な記録保存および情報公開を望みます。
39						○					○		旧永田町小学校校舎は、関東大震災後に復興、改築された140近い小学校群の掉尾を飾る集大成とも言える小学校校舎です。当時の最新の知見が活かされ、実現された数少ない現存校舎のひとつとしてとても貴重な存在であり、文化財としての価値を有する重要な建物です。今後の土地の用途未定のまま、拙速に解体してしまうことなく、少なくとも将来の土地利用の方法が決まるまで、現状の校舎校庭の暫定利用方法を公募する(恒久利用も含め)など、保存活用をご検討ください。都心部にある特別な立地から見ても、世界に発信できる貴重な「建物再生」の事例となる可能性を有しています。まずは、旧永田町小学校校舎校庭の建築、都市計画的な資料の整備(各種資料の収集整理、実測調査など)を進めていただきますようお願いいたします。
40						○					○		関東大震災後の117校が建設された復興小学校の流れを汲み、当時の海外雑誌にも紹介されたインターナショナルスタイルの先進的な学校建築である。地域の方々からの多くの寄付も寄せられ建設されたもので、給食配膳用ダムウエーター、屋内体操場の上階には映写室も備えた講堂、公立小学校では初の床暖房、なども兼ね備えている。外観は抑制されたデザインながら、わかりやすい平面計で使い勝手もよく、機能的、安全性、柔軟性、経済性なども兼ね備えている。モダンイズム建築でありながら、無機質にならないような細かなデザインも随所に見られ、登録有形文化財登録基準を十分に満たしている。わずかな耐震補強を行うことで、セキュリティに配慮しつつ、多くの利用者が期待できる有機的な複合施設として有効活用が可能である。千代田区全体の公共施設グランドデザインを検討するに際しても、建設コストやその後の施設集約による長期的な維持管理コストの低減も期待できる。

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)永田町小学校・幼稚園の	関係者(卒業校・幼稚園以外)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
													意見の内容
41	○					○	建築関係団体等					○	関東大震災後に復興小学校として建てられ、東京大空襲では卒業生達の力で延焼を免れた。今も近隣の住む卒業生は関心がある。このような人々の気持ちを大事にしてまちづくりを行うべきだと思います。
42						○	建築関係団体等					○	復興小学校として、貴重な歴史的資料であると思うと、次の使用が決まってないなら解体すべきではないと思う
43						○			○		○		関係資料は丁寧に整理して保存すべきです。貴重な建築による歴史ある小学校です。是非遺してください。東京都ばかりでなく国の財産の一つです。非、【※原文まま】
44						○	建築関係団体等					○	永田町小学校が建てられた時代を考えると、建物の頑丈さはもちろんの事、高い天井、明るい教室、体育館の他に講堂、床暖房設備や屋上での日光浴考慮など、その当時考えられるすべての先進的技術や配慮がなされている。現代において子供の義務教育の場をこれほど尊重している学校はない。戦前の社会が子供の教育にかけた期待を体現した場所として、性能を向上させたうえで使い続けて残してゆくべきだと考える。
45	○									○			永田小を文化財にして保管すると聞きました。私の周りにあれを残したいという人は誰もいません。当時在校した人もういません。早く永田町らしい立派な施設を作ってください。無駄なことをしないよう希望します。
46	○									○			神田の学校はだいぶ前に壊されています。麹町の学校ばかりを大切にするのはなぜでしょうか。廃校になってもう何年も経つ建物をいつまで残しておくつもりでしょうか。
47	○	○	○				同じ千代田区の区民です				○		せっかくのいい文化なので九段下高校の夜中たちで存続してほしいと思います
48	○									○			小学校が番町でしたので、近くの小学校としてうかがうことがおあった歴史的建築物の校舎がなくなることは寂しいですが、千代田区の皆さんが癒される場所、共有できる施設などができることをのぞみます。
49	○									○			麹町地区文化保存として山車、神輿蔵を建ててほしい その他にパラリンピック種目のボッチャ モルック競技場など
50				○			永田町小学校の卒業生			○			小中学生の教育のための場所にしたいと思います 一部米や野菜収穫できるスペースがあるグランド図書室や児童館的な高齢者の憩も共存しても良い
51				○			永田町小学校の卒業生			○			災害時の一次避難場所にもなる施設か、公園がいいかと思います
52				○			永田町小学校の卒業生				○		校舎をそのまま利用する策を考えましょう
53	○								○	○			永田町小学校は、子どもたちが自ら学び、育ってきた大切な場所だと思います。 その思い出を大切にしながら、千代田区のより多くの子どもたちの学びと成長に役立つ活用こそ、未来への一番の贈りものになるのではないのでしょうか。 例えば、子ども向けの図書館や自習室などの学習スペース、カフェ、演劇や音楽ができる大ホール、球技や水泳ができる体育館や温水プールといった、複合的な教育・文化・スポーツ施設として区民が集まる場所として再整備する案が考えられます。 その中に、永田町小学校の歴史や遺構、写真、思い出の品などを展示し、訪れる人がいつでも触れられるようにすることで、過去と未来が自然につながり、地域の記憶も受け継がれていくと思います。 「懐かしさ」を残しつつ、「これからの子どもたちの価値」を最大化する使い方ができたら、とても素敵なことだと感じています。
54	○								○	○	○		建物についてではなく、記録や資料の保存についてのアンケートの回答は難しいです。 ・建築物に歴史的な価値があると思われますので、できれば解体しないで建物を保存してほしい ・なるべく多くの区民が利用できる区民施設にしてほしい その中に永田町小学校記念館のような施設を設けて、記録や資料などを保存してほしい。

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)生 永田町小学校・幼稚園の	関係者(卒業生・幼稚園の生以外)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
55			○								○		東京建築士会のヘリテージマネージャー講習にて、実習会場として調査をさせて頂きました。永田町という場所に、復興小学校から引き継がれた特徴や意匠も多く残り、その後の小学校建築の規範となるようにと計画されて建てられた小学校がそのままの姿で残っているとはそれまで知りませんでした。また、戦争の経験したことにより、その記憶が建物にも多く残されていることも知りました。資料として残すことよりも、この建物を残すことの方が後世に震災のことも、戦争のことも、引き継いでいくことができると思います。耐震性は耐震補強等いろいろな方法があります。閉校後も長年、形を変えずにいたということは残す道も考えていたのではないのでしょうか？壊すことは簡単ですが、その歴史まで壊してしまうことには反対です。壊してしまつては基には戻りません。建物を残すことの検討は十分に行われてたのでしょうか？建設費高騰が続く昨今で、建て替えをすることがベストなのか、今一度検討してもよいのではと思います。
56	○										○		ヘリテージマネージャー養成講座の演習が、永田町小学校であり、実測や保存活用方法についてグループ単位で行いました。関東大震災後の復興事業の中でも鉄筋コンクリート造の小学校は、当時の東京市建築局が最先端の設備を入れるなどその後の学校建築のモデルになったと、東京に生まれ育った者として永田町小学校を見学実測をし、図面や資料を調べて実感いたしました。講座の演習では保存活用方法として、都会の小中学生が地方に農業体験に行くのと同じように、全国から永田町に来て国会や政治を学べる場として体験型研修施設として活用してはどうかとグループで考えました。講堂を子供国会議事堂とし、教室は子供議員宿舎にして、食堂や屋上、日光浴室をオープンカフェにして地域や議員の方々との勉強や交流の場に使用。永田町小学校はその立地からそのような活用に最適な施設と考えます。講座では他にも様々な保存活用が提案され、貴重な建物の保存活用を学ぶ者として永田町小学校の価値を認識し今後長く残し活用してほしいと願いました。また、永田町小学校は、建築的にも専門家がモダニズム建築代表作の一つで復興小、改築小と繋いできた流れの到達点の建物と高く評価しています。耐震診断でも補強は可能と出ています。スクラップ&ビルドの時代は終わっています。東京の中心に立つこの貴重な建物を解体ではなく保存活用して生かし後世に残すことを再考して頂きますようお願い致します。
57				○						○			防災倉庫を兼ねた避難所兼公園。下水、井戸、食事が作れる公園。
58				○				○					永田町小学校の解体前の見学を希望します。2015年3月に同期会を開催した際に、千代田区にお願いして校舎内を見学させていただいたことがあります。参加者からも機会があればまた見学したいとの希望もあり、今回を逃すと次は無さそうなので、是非とも見学の機会を設けて頂きたいと思います。
59						○					○		コロナ前になりますが、東京建築士会のヘリテージマネージャー養成講座で、永田町小学校の実測演習・活用計画演習がありました。実測調査の際、当時の小学校建設・小学校教育方針等が伺えるプラン構成や、あちらこちらに見られるかわいらしい意匠、代々の卒業生の作品と、時代にあわせて改修を行いながら、大切に使われてきた痕跡がたくさん残っていて、とても素晴らしいと思いました。養成講座の永田町小学校の活用計画演習の中で、小学校の一部を当時の復興小学校の特徴を体験できる資料館として計画したのを思い出します。今回、解体される方針とのお話があり、今回の資料の保存と一緒に建物自体の保存活用の道も再考いただけないかと思い、意見させていただきます。復興小学校は関東大震災後の東京を建築史を語る上で、とても重要な位置付けにあると考えます。残されている数多くの資料とともに、現在の永田町小学校の建物自体も資料として活用の道を検討いただきたく、宜しく願いいたします。
60						○					○		旧永田町小学校は歴史ある小学校です。その歴史の積み重ねが現在と未来をつくります。大震災後の耐震性、耐火性のもともより、先進性もある復興小学校としてつくられたことは首都にふさわしい施策だと思っています。建物を残してコンバージョンをして「公的な施設」として下さい。
61				○				○					閉校から30年以上も経ってまだ校舎が残っていたことに驚きました。よくこんなに長い間保存していたと感心します。学校は区のものなので区のことを一番よく知る役所に扱いは任せるべきと思いますが、最後に校舎を開放してくれると嬉しいです。
62	○									○			永田町小学校を解体、機能更新で新しい建物を立て替えて千代田区のランドマークにして欲しい
63		○										○	歴史的な建造物なので歴史を残す工夫など検討頂ければと思います。

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)永田町小学校・幼稚園の	関係者(卒業校・幼稚園の外)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
64	○									○			千代田区は土地が少ないため、なにかに活用したほうがよいのではないのでしょうか。老朽化したビルをメンテナンスし続けるのは費用も莫大であり、また、場所柄区民が気軽に利用できるわけでもないので、グラウンドや公園など運動会やお祭りなどに使える施設になればよいかと思います。
65	○								○	○			施設の老朽化による危険な状況は、早急に改善すべき課題と考えます。 解体工事は早期の実施をお願いいたします。 永田町小学校時代の資料は、閉校になった他の小学校と同様に、近隣の区立施設(麹町中学校もしくは麹町小学校など)に資料室を確保し保管していただきたいです。必要な時期に必要な人が閲覧・参照するのに便利と考えます。
66	○									○			いつまでも区有財産を放置しないで有効活用を希望します
67	○									○			いつまでも区有財産を放置しないで有効活用を希望します(意見番号:67と重複)
68	○		○							○			解体後に千代田区の福祉施設として活用するのであれば解体は大賛成です。 建物を維持するならば、擁壁の上に校庭があるので耐震強度の問題や設備の老朽化のよる漏水、浸水等修繕費が高むばかりで、幼少期の思い出の為に校舎を残したいという気持ちだけで建物を残すというのは区民の為にともならないと思います。 一刻も早く取り壊して千代田区独自の地区開発のアイデアを出していくのが賢明かと思います
69	○		○							○	○		区民の憩いの場になると良いですね。 建物は(一部でも)遺産として残して欲しいです。 コミュニティ活動ができるイベント会場になると良いと思います。
70						○ 元在勤者					○		意見募集期間を延長していただき誠にありがとうございます。 1) 旧永田町小学校関係資料の取扱いについての意見募集ですが、そもそも解体を前提として資料の取扱いについて意見を募集することに疑問があります。実物こそ最高の資料です。それを解体することについて議会で十分議論がされていません。これでは区民から不満の声が上がって当然です。 2) 永田町小学校の敷地をどのように利用するかは、まだ決まっていないのに解体ありきでは、区民の合意形成は得られないでしょう。どのように利用するか決まって、それが十分区民に共有され、そのために解体するのか、残せるのか、判断すべきで、順序が逆です。敷地を何に使うかわからないけれど、とりあえず壊す、という見解は、区民の財産を預かる行政、ましてや天下の千代田区がすることではありません。このような非合理的な進め方は今の時代に合いません。改めてください。 3) 永田町小学校の維持管理費が年間500万円かかるというのが解体の理由とされていますが、仮に解体費が10億円とすると、維持管理費の200年分です。もし解体しなければ維持管理費の200年分が節約できるのです。維持管理しながら、ゆっくり永田町小学校の使い道を考えませんか。 4) 一般に、建物を改修して使い続けたり、リノベーション(改修して用途を変更すること)した場合、同じ大きさのものを新築するのに比べて、3割安いとされています。また、オーストラリア・シドニーのキー・クォーター・タワーの事例では、新築に比べ、44%のCO2削減ができたと言われています。 5) 費用対効果を真剣に考え、環境先端地をめざす千代田区にとって、壊さず使うという選択肢は魅力的ではありませんか。3331では、千代田区の先進的な取り組みが話題になりました。今度は永田町小学校で環境先端地として話題になる番です。全国から大勢の視察者を集めることになるでしょう。
71	○									○			早くばっさり綺麗に解体して、区民に役立つもの建ててほしいです。 区内小中学校合同の音楽会できる大きな区民ホールとか、障害者施設とか要保護児童施設とか。広い土地もったいないです。
72	○		○							○			永田町小は残していても今の子ども達が支える場ではないと思い、地域の方が使えるようにしていただきたいです。
73	○									○			永田町小を中心とした地域の在りし日の姿をイマーシブ・シアターという形で追体験できる施設を作って欲しい。 イマーシブ・シアター 領土・主権展示館 https://share.google/xEh5ve7CZzHVruUYg

(別紙) 提出された意見

旧永田町小学校関係資料の取扱いに対する意見照会の結果概要について

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)永田町小学校・幼稚園の	関係者(卒業)永田町小学校・幼稚園(園)生以外	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
74	○								○				私は居住エリアが異なるため、詳細にかかる意見までは申し上げられないのですが… 当該資料や記録等は是非とも保存していただきたいと思います。 その上で、解体を全て業者の方がやってしまうのではなく、地域住民や学生、地域企業の方々も解体に関わり、意見交換等を行う。 セレモニーの際には、その様子や、その時に出来た案等を披露する場を設けると、解体ではございますが、その先を皆で共に過ごしていくための未来思考的なセレモニーになるのかなと思いました。
75	○		○						○				千代田区には、公適配、所謂統廃合で廃校になった小学校が多く存在します。特に、私たち千代田区立小学校校歌保存研究会は、廃校になった小学校の校歌にスポットを当て、当時の先人たちが子どもたちへ寄せる想いを研究し残していくことで、時代を考察する活動をしています。歴史ある永田小も、多くの文字に残すものは多くあると思いますが、是非とも、音として残せるものもあると思います。当時の人間しか知り得ない音、イントネーション、テンポ等（例えば、鯉節と書いてカツオブシ。しかしながら江戸っ子はそれをカツブシと読むような、ねおいの人間にしかわからない残さないもの）を丁寧に残していっていただきたいと思います。
76	○											○	永田町小学校については何も存じませんでした。勉強させていただきます。
77	○	○							○				1. テーマ別ルームの命名とデザイン： 新しい施設の部屋やエリアに、学校の教室名や部活動名を付け（例：「旧1年A組会議室」）、壁に学校の歴史年表や生徒の絵画を飾る。カフェや図書室がある場合、学校の蔵書を一部移設して「思い出の図書コーナー」に。 2. デジタル・インタラクティブな組み込み（現代的な体験を提供） AR/VR体験ゾーンの導入：新しい施設にタブレットやVRヘッドセットを設置し、ARアプリで旧校舎の3Dモデルを重ねて「仮想ツアー」を可能に。利用者が施設内を歩きながら、過去の学校生活を再現（例：教室で授業の音声が聞こえる）。思い出の写真や動画をアップロードできる機能も追加。 3. 資料 インタラクティブディスプレイ：タッチスクリーン式のキオスクを置き、学校の年表や卒業アルバムを閲覧可能に。QRコードを施設の各所に配置し、スマホでスキャンすると関連する思い出話や資料が表示される。スキャンしてデジタル化：写真や文書を高解像度スキャナーでデジタル化。動画はMP4形式に変換。無料ツール（Google DriveやDropbox）や専門ソフト（Adobe Scan）を使い、バックアップを複数（クラウド+ハードディスク）作成。 ・メタデータの付与：各ファイルに日付、説明、キーワードをタグ付け。長期保存のため、PDF/AやTIFFなどのアーカイブ形式を使用。 ・クラウドストレージの活用：Google CloudやAWSにアップロード。セキュリティを強化し、定期的にバックアップを確認。 保存のポイント：著作権や個人情報保護（GDPRや日本の個人情報保護法）を守る。5年ごとのレビューで資料の状態を確認。 資料の閲覧方法 保存した資料を誰でもアクセスしやすくし、思い出を共有できるようにする。オンラインとオフラインの両方を組み合わせ。 オンライン閲覧 ・専用ウェブサイトやポータル構築：WordPressやGoogle Sitesでサイトを作成し、資料をカテゴリ別に公開。検索機能付きで、卒業生がログインして追加投稿可能。例：「学校アーカイブサイト」として無料ホスティング。 ・モバイルアプリの開発：シンプルなアプリ（MIT App Inventorで作成可能）で、資料閲覧や通知機能を実装。プッシュ通知で新着思い出を共有。 ・ソーシャルメディア統合：FacebookグループやInstagramアカウントで一部公開。ハッシュタグ（#旧校名思い出）でユーザー生成コンテンツを集める。 オフライン閲覧 ・施設内閲覧室：新しい施設に閲覧コーナーを設け、タブレットやプリントアウトで資料を提供。予約制でプライバシーを確保。 ・イベント時公開：同窓会や地域祭で資料を展示。ボランティアがガイド役を務める。 ・貸出システム：デジタルコピーをUSBで提供、または図書館連携で物理資料を貸出。 閲覧のポイント：アクセス制限を設定（例：卒業生限定エリア）。利用ログを記録して人気資料を分析し、更新を続ける。無料で基本公開し、有料オプション（高解像度ダウンロード）で維持費を賄う。
78	○								○				旧永田小学校は関東大震災後の復興のモダニズム建設のさきがけの学校で、歴史ある学校なので、資料等は公文書館に保存されてもいいのではないのでしょうか。
79	○									○			千代田区在住・在学・勤務者向けのスポーツセンター。
80	○									○			旧永田町小学校跡地については、区が引き続き土地を所有することを踏まえ、将来の行政需要に対応できる柔軟性を確保しつつ、安定した収益も見込める活用が良いと思います。 立地特性を活かし、行政機能と民間収益事業を組み合わせた複合施設とする事ができれば、区の土地所有の財政負担を抑えながら、継続的な地代収入や施設使用料収入が得られる。 例えば、区民利用や防災拠点、会議室等の公共用途にし、オフィスや政策関連事業者向けの施設などとして活用する。 また、国会や官庁街に近いので、政策・公共分野に関わる外国関係者の利用を想定した施設とすることで、収益性が期待できると考えます。 一時的な活用や短期的な収益にとどまらず、将来の行政課題の変化にも対応可能な土地利用とし、区民にとって長期的なメリットがある形での活用方針を検討していただければと思います。

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)永田町小学校・幼稚園の	関係者(卒業校・幼稚園の外)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
							永田町小学校との関係						
81	○		○				永田町小学校の卒業生			○			残していても無駄なので、とっとと壊して土地を有効活用してください
82	○									○			卒業された方々には残念とおもいますが、時代の流れであると思います。土地の有効活用をと思います。
83	○								○	○			校舎解体ははしていいと思います。 解体したくない方には記念品のようにして木の一部差し上げる。 解体した木材などについては地球温暖化防止のため何かに再利用する。 その後跡地には近隣在職者たちの憩いの場となれる場所を作るといい思いました。
84	○								○				永田町小学校は私が富士見小学校を卒業した1993年3月に閉校している。既に33年が経とうとしている建物である。この間、千代田区は暫定利用を続けてきたが、さすがに限界を迎えていると言わざるを得ないため、解体はやむを得ない考える。しかし、旧富士見小ではできなかったが、現代の映像記録技術を用いて、現存の校舎や資料のデジタル保存は可能であると考え。つまり、統廃合によって残すことができなかった、校歌や、教室の内部の記録写真等をかえて現在の技術を用いて残すことができるので、そのことを千代田区として、努力してほしい。私の先輩も永田町小卒であるが、さすがに保存活動は無理だと心得ているため、最低限の保存でもいいので実行してほしい。解体後の建物については、建築費高騰の折、時間を十分にかけて検討してほしい。
85	○									○			子どもたちの遊び場。
86	○		○							○			日本、千代田区、の良い文化伝統を次世代に繋いでより良い千代田区、日本を創り目指す為には、千代田区として出来ることを行うことが大切だと考えます。 日本にとって大切なことは、自給率を上げることだと考えます。 特に、食料自給率、エネルギー自給率、防衛自給率は、大切だと考えます。 大きな意味で、日本をより良い国にするためには、千代田区に出来ることは、エネルギー又は食料自給率のアップだと考えます。 そこで私は、アメリカニューヨークで日本人が成しているいちご工場を作っては、いかがでしょうか！経済と自給率のアップ、両方がうまく行き、ウインウインになれると思います。
87	○	○							○	○			貴重な資料は映像や写真、デジタル保管して定期的に公表するとい。跡地はあそび場や広場、区民が憩える公園にすればみんなのためになる。校舎の保存を求めている人がいるらしいが区民のためにならない。そんなに大切ななら自分の費用と責任で買い取って移築するとい。
88	○								○				永田町小学校の歴史も長いようで、近隣に長くお住まいの方や、その佇まいからも、地域の方々に愛される小学校だったのではないかと思います。その歴史や理念、精神を麹町小学校や番町小学校が引き継いできたのではないのでしょうか。番町小学校愛育会の地域活動部でお仕事をしていますと、そうした経緯を感じることがあります。そして、その流れが地域と小学校を繋ぐ貴重な文化に繋がっております。その歴史を知らない世代も増えておりますので、ぜひ、この機会にその歴史を継ぎ、これからの地域と教育現場を繋ぐコミュニティの成就に繋いで頂きたいと思ひます。どうか宜しくお願い致します。
89	○									○			子供が運動できる施設のご検討をお願いします。

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業（園） 永田町小学校・幼稚園の	関係者（卒業校・幼稚園（園）生以外）	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
90	○			○							○		歴史的にも文化的にも価値のある永田町小学校旧校舎は解体しないで下さい。 資料や記録などは解体しないでそのまま保存して下さい。 保存した場合の活用の希望を以下に述べます。 ○避難場所として 戦前より祖父母の代から平河町に住んでおり私は生まれた時から祖父母と暮らしています。毎年、5月25日になると昭和20年のこの日の大空襲の悲惨な様子を小さい頃から聞かされていました。地下鉄に逃げた人々は火が地下まで襲ってきてまる焼けになり、お堀に逃げた人は熱くなっていたお堀で亡くなったそうです。祖父母は鉄筋コンクリートの永田町小学校に命からがら逃げこみ救われました。永田町小学校は頑丈で空襲に遭っても壊れませんでした。 日本大学理工学部建築学会空間構造デザイン教室の見解によれば旧永田町小学校は補強を要する建物との判定ではあるが材料は健全で壊すしか手立てがない状況ではないとのこと。大規模修繕及び耐震補強をすれば今後も使用できます。 今後は災害時の避難場所として活用して下さい。 ○小学校の施設として 千代田区の人口が増加し、麹町小学校の教室が足りなくなり図書館を潰して教室にして本は廊下に並べているそうですが旧永田町小学校をまた復活させるのが良いと思います。 ○一般区民でも使える施設として 麹町大通りから日比谷公園まで千代田区の公共施設は麹町中学校、保育園、日比谷図書館の3施設のみです。（麹町仮住宅は未だに住民の希望するアンケートをしてもらっていません。）近隣には就学年齢ではない一般区民への公共施設が全くありません。 旧永田町小学校を大規模修繕及び耐震補強をして一般の区民でも使える施設、図書館や温水プールにリニューアルして開放して下さい。 ○歴史的文化的価値のある旧永田町小学校 関東大震災により建て替えた永田町小学校は復興小学校と呼ばれ当時としては珍しい床暖房、温熱暖房のコンベクター設備が敷設されていたとのこと。また竣工時から給食室があり校内でパンも焼けて、体育館と講堂が別々に設けられている、2階席ギャラリーや映写室を備えているなど永田町小学校が初めて実施したことや都内でも珍しい敷設が多くあります。修繕や補強すればまだ使える価値のある建造物を解体しないで下さい
91			○				卒業生多し。				○		区民の憩える建物を期待す。
92	○										○		解体を前提に議論すべきと考えます。
93	○		○							○			エリア外の区民としてご意見申し上げます。平河町に友人がいたので永田町小学校08と交流をしております。その平河町も開発のための立ち退き、元々越境入学や官舎からの通学が多く、現在ほとんどの方が千代田区民ではなく、永田町に行くことも無いようです。また、エリア外の多くの区民は校舎を見たこともありません。永田町小学校は千代田区の学校の中では特異な存在でした。仮に保存した場合は、場所的にも馴染みがなく利用が制限され、旧鎌成中学の様な有効活用が出来ないと思われます。確かに歴史的建造物としての価値はあります。千代田区民として申し上げると、私の父は淡路小学校卒、私は神田小学校卒です。町会の先輩は神龍小学校卒です。何れも旧校舎はなくなり新たな小学校や再開発ビル、または体育館に生まれ変わっております。永田町小学校だけが特別なのでしょうか？多額の税金(区税)で大規模修繕をして、維持管理保存する意味があるのでしょうか？税金を投入しない方策や区民が納得する様な画期的なビジョンがあれば別ですが、現状では一旦更地にして新たな活用方法を検討した方が良いかと存じます。例えば土地を売却(国など)して新スポーツセンターの建設の財源にするとかは如何でしょうか？誠に勝手ながら区民として思うところを述べました。何卒よろしく願い申し上げます。
94	○								○				神田に住んでおりますので麹町に関しては部外者となるのかもしれませんが一言申し上げます。私の両親も兄も今はもうない神田の小学校に通っていました。学友ももちろん同様です。永田町小学校は歴史も古く著名人を輩出する有名校で文化財に値する価値はあるのかもしれませんが。しかしながら、それは神田も含めたすべての千代田区民に関係があるのでしょうか。永田町小学校の卒業生だけが思い出を残すために、あるいは建築家の先生方が満足するためだけに貴重な土地を使うことを良しとするのでしょうか。神田の小学校は、神田の住民は、何十年も前に区のために母校を失ったことを、今さまざまな訴えを区にしている方々はどのように思われているのでしょうか。千代田区に存在する以上は区民の共有の財産です。卒業生や建築家の先生方の私物ではありません。保存するのも修復するのも私達全区民の税金を使います。そうした点をぜひご高配のうえご判断いただきたいと思います。私の関係者、友人、知人、それほど多くはありませんが、皆身勝手な保存を望んではいません。 ただ、それでも永田町小学校の関係者の方々の気持ちは大切にしていきたいだと思います。私ですら、当時の思いも光景も今も心の中にあり、友人と話す度に昨日のここのように思い出されます。私の小学校も資料室を作っていただし、思い出や資料は保管していただいていると聞いています。もはやそれを見る機会も無いかもしれませんが、それでもありがたい気持ちでいます。そうした思いを大切にするような関係資料の保存を区役所の方には切に願う次第です。

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)生校・幼稚園の	関係者(卒業校・幼稚園(園)生以外)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
95	○									○			千代田区役所の施設なのでいろんな機能の入った建物になるのでしょうか。そんな建物を増築で建てるなんて無理だし、増築できないから機能を入れないなんて本末転倒。早くきれいな施設を作ってください。
96		○										○	坂を下る途中の建物の一部が崩落しています。道に壁の破片が落ちています。資料の前に危険な建物を何とかしてください。通行人に当たったら怪我をします。危ないです。怖いです。
97	○			○							○		<p>旧永田町小学校・幼稚園について、十分な調査や検討が行われなまま、解体を前提とした「記録保存」の意見募集が実施されていることに、強い違和感を覚えています。建物の安全性や耐震性に関して、専門家による詳細な調査結果や判断根拠が区民に示されておらず、なぜ保存や再利用の可能性が検討対象から除外されているのかが明確ではありません。一部では「土地のため」と説明されていますが、具体的な用途や必要性は示されておらず、歴史的に貴重な建物を解体する合理的な理由が区民に共有されているとは言えません。</p> <p>全国には、旧校舎を耐震補強の上で保存・再生し、教育・文化・地域活動の拠点として活用している事例が数多く存在します。旧永田町小学校・幼稚園も、長年にわたり地域の教育と暮らしを支えてきた建物であり、耐震・耐火性能に加え、構造や採光、空間構成などがよく考え抜かれた、教育環境として極めて質の高い建築です。単なる老朽施設ではなく、千代田区の歴史と記憶を体現する重要な公共資産であると考えます。解体を前提に記録保存のみを検討する姿勢は、こうした価値を十分に評価しているとは言えません。</p> <p>まずは第三者の専門家による客観的な建物調査を実施し、保存・再利用・部分保存など複数の選択肢を公平に比較検討した上で、その結果および判断過程を区民に丁寧に開示すべきです。拙速な解体ではなく、調査と熟議に基づく慎重な意思決定を求めます。未来を担う子どもたちのため、そして区民全体、ひいては日本の財産として、リノベーションによって残すという選択を真剣に検討すべきであると考えます。</p> <p>旧永田町小学校・幼稚園のように、歴史的・文化的背景を有する公共建築については、解体ありきで方針を決定するのではなく、保存・再利用・用途変更など多様な可能性を検討することが不可欠です。全国の自治体では、旧校舎を地域の学びや文化、交流の拠点として再生させている事例も多く、歴史的価値と現代的機能を両立させた活用が進められています。こうした先行事例や知見を踏まえた検討は、日本の中心に位置する千代田区においてこそ、率先して行われるべきものと考えます。</p>
98	○				○						○		<p>私は長年千代田区永田町に居住し、現在も千代田区に在住しております。永田町小学校には子どもたちが通い、当時の区の方針であった国際理解教育のもと、子どもの人格形成を大切にする質の高い教育を受けさせていただきました。永田町小学校は、地域住民にとって単なる学校施設ではなく、千代田区教育理念を体現してきた象徴的な存在であったと考えております。</p> <p>一方で、近年の区有施設の扱いについては、強い危惧を抱かざるを得ません。私は箱根の千代田荘を長年利用し、千代田区の歌の会などの活動にも参加していましたが、十分な説明や区民への丁寧な周知がないまま、事実上なし崩し的に閉鎖されました。区の大切な財産が、区民の理解や検証の機会を欠いたまま失われていく過程を目の当たりにし、区政に対する不信感を抱くに至りました。</p> <p>永田町小学校についても同様に、解体を前提とした方針の報告と意見募集が行われており、意思決定の手続きとして大きな疑問を感じております。区民の共有財産である公共施設について、十分な資料の提示や情報提供がないまま、結論ありきで意見を求めることは、区民参加や説明責任の観点から適切とは言えません。</p> <p>千代田区には子どもの遊び場が少ないとの指摘もあり、実際に孫の球技練習においても、場所が確保できず中止を余儀なくされることがあります。永田町小学校の校庭や体育館が開放・活用されれば、その歴史的・文化的背景と相まって、未来を担う子どもたちにとって極めて意義深い場となるはずです。</p> <p>一度解体してしまえば、二度と元に戻すことはできません。目先の効率や都合だけでなく、行政だからこそ守るべき区民の財産、ひいては国の財産であるという視点を持っていただきたいと思います。</p> <p>千代田区が掲げる「教育と文化の街」という理念が形骸化することのないよう、永田町小学校がなぜあの場所に存在し、どのような歴史的・文化的役割を担ってきたのかを改めて検証し、保存や活用を含めた複数の選択肢を区民に示した上で、開かれた議論を行うことを強く求めます。</p>

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業（園）永田町小学校・幼稚園の	関係者（卒業校・幼稚園（園）生以外）	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
99	○				○						○		<p>私は両親の代から長年永田町に居住し、永田町小学校とともに地域で暮らしてきました。</p> <p>永田町小学校は、「日本を先駆けたモデル校」として建築され、当時の政府関係者の教育に対する高い理念と志を体現した学校であり、日本の教育の誇りとも言える存在でした。日本の中心とも言えるこの地に、あえて教育施設を建設したことからは、教育を重視する当時の日本の強い意志と在り方がうかがえます。永田町小学校は、地域の子どもの学びの場であると同時に、地域住民にとって精神的な拠り所でもありました。</p> <p>関東大震災後に建設された小学校として、耐震・耐火性を強く意識した構造であり、区の指定避難所としても機能するなど、非常時においても多くの命を守ることを前提に造られた建物であったと聞いております。</p> <p>1945年の東京大空襲の際には、私の母が、炎が荒れ狂う中を匍匐前進で永田町小学校までたどり着き、避難してきた住民の方々と力を合わせ、命がけでプールの水を使った消火活動にあたりました。永田町小学校は、そうした区民一丸となった必死の努力によって激しい戦火に耐え、焼失を免れ、多くの住民の命を守りました。その後も戦後の教育を支え続けてきた建物です。</p> <p>さらに1982年には、レーガン米大統領夫人をはじめとする世界的な著名人が訪問され、国際的にも注目を集めました。</p> <p>戦災を乗り越えて今なお残る永田町小学校は、地域の歴史と記憶を今に伝える、千代田区にとって、そして日本にとっても極めて貴重な公共財であると考えます。</p> <p>解体を前提とするのではなく、これまでの歴史的経緯と公共的価値を正当に評価した上で、保存や活用の可能性について丁寧かつ慎重な検討がなされることを強く望みます。</p>
100						○					○		<p>永田町小学校校舎は戦前期につくられた東京市の小学校の1つで、モダンな意匠、体育館と講堂の両方をもつこと、当初の意匠がよく残されていることが特徴の、非常に優れた建築である。東京市が戦前期に建築した校舎は復興小学校・改築小学校と呼ばれるが、それらは近隣住民が使うことも想定されていた。小学校が閉校になっても、近隣住民をはじめ多くの人々が訪れる施設となるよう、校舎自体を活かし利用すること、また、校舎内部に資料室を設けて永田町関係資料を公開展示することを希望する。京都芸術センター（旧明倫小学校）、神戸市立海外移住と文化の交流センター、KIITO デザイン・クリエイティブセンター神戸（旧生糸検査所）など、歴史的建造物の中に歴史展示室を設けた先行事例が参考になる。建物を再生・転用したことで、建物自体が歴史を語り、それらは非常に魅力的な人気の施設となっている。歴史的な優れた建物が現存し、活用されていることは、都市の魅力を高め、地域の重要な資産となる。そのような施設となる可能性をもつ現校舎を解体してしまうとしたら、非常にもったいない。</p>
101	○									○			<p>私たちは、自分がかかわった地域、学校などに愛着を持ちますが、それらのすべてが、時代とともに状況を変えていきます。その中で、何かを変えなければならないとき、私たちが考えなくてはいけないのは、未来への視点だと考えます。</p> <p>永田小も、未来の区民のよりどころとなる場所に生まれ変わる、という展望のもと、新しい視点で、今後のあり方を考えてほしいです。</p>
102	○									○			<p>永田小の関係者、卒業生などのためには、思いを大切にできる最良の場所、方策を考えてほしいです。</p>

(別紙) 提出された意見

旧永田町小学校関係資料の取扱いに対する意見照会の結果概要について

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)永田町小学校・幼稚園の	関係者(卒業校・幼稚園の外)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
103	○	○		○							○		<p>永田町小学校校舎は、モダニズムに立脚したデザイン性のある校舎であり、校舎そのものに芸術的価値があるといえます。その斬新性から、昭和31年8月には、造形教育センター夏の研究会が行われております。造形教育センターは、昭和30年6月、当時の絵画表現を主とする表現主義的な教育に対して、バウハウスの造形理論と組織の影響を受けてデザイン、工作領域を取り込んだ総合的な造形教育の研究団体として産声を上げ、我が国の戦後造形美術教育の歴史とともに半世紀の歩みを続けている造形教育の団体です。永田町小学校では、全国図画工作教育振興総決起大会も開催され、戦後の造形教育やデザイン教育の中心的な実践を世の中に広めていくための研究会場にもなりました。</p> <p>我が国における図画工作教育の中心的役割りを果たしてきた永田町小学校の資料には、校舎の一部となっている卒業制作含め、造形教育にかかわる資料が多くあります。それらを散佚させることなく、現物のまま保存保管することは、日本の子どもを取り巻く昭和史研究の一翼でもあります。</p> <p>昭和50年代以降本格化した帰国子女教育の資料とともに、どうぞ適切に保存保管し、その文化的価値をご認識いただきますようお願い申し上げます。千代田区文化遺産への登録をお願い申し上げます。</p> <p>永田町小学校の校舎が老朽化しているならば、どのように補強すべきか、首脳会議で一方向的に決定された解体ではなく、校舎保存にむけ方針転換をいただきますよう切にお願い申し上げます。</p> <p>校舎の文化的価値を、今一度、建築学会はじめ、新宿区や中央区等の復興及び改築小学校保存例より研究いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>特に、体育館と講堂は、そのまま使用できるものです。同規模のものを作るよりさきに、そのまま保存、ストック利用されることを区民として、卒業生として強く要望致します。</p> <p>教育と文化については、人数による多数決や区長の独断で決定されるべきではありません。公共施設の適正配置は、コミュニティを壊すものではなく、コミュニティを作る、継続させるための構想ではないのでしょうか。どうか、ボール遊び場や公園ではなく、永田町小学校の地を人生における教育と文化の場となるようリノベーションをお願い申し上げます。</p>
104						○					○		<p>東京ヘリテージマネージャー■期養成講座で永田町小を実測調査演習し、区有財産としての重要性を認識しました。</p> <p>今回、永田町小学校校舎の解体方針を知り、また、『解体後の土地は引き続き区が所有し、売却の予定はありません。今後の活用方法については、行政課題や地域の状況を踏まえながら検討を進めていく予定』であれば、一度解体して全く消失してしまう前に、この区有一等地の価値を、そこに現存する歴史的建築を活用することにより最大化する可能性を、検討するプロセスを設けていただきたいと切望するものです。</p> <p>永田町小学校校舎は、関東大震災後の復興小学校の集大成とも言えるモダニズム学校建築の名作だと考えます。特に、東南角部の屋上実習園跡のデザインは素晴らしく、多くの少年少女たちがここから、国会議事堂を間近に望み、日本の国の未来に夢を描いたと思われます。</p> <p>北東角部には、体育館に講堂を重ねた集会場の場が、街に開かれるように設けられています。</p> <p>歴史的建造物を財産として学ぶヘリテージマネージャー演習で、永田町小を実測調査に続く活用提案作成では、私たちのグループは「永田町まつりごと スクール」と名付けた活用計画を発表しました。</p> <p>校庭部分に新しく高層棟を建て、足元は永田町小学校校舎を補強して保全し、その既存低層部分を「まつりごと スクール」として、全国から若者が、政治や制度設計、まちづくりなどを学びに来られる、キッザニア政治家(ポリティシャン)版というような宿泊型学習施設にリノベーションする内容でした。</p> <p>周辺にある国会議事堂や博物館などの関連施設のツアーや、既存講堂では模擬議会や海外との子どもオンライン国連会議などを体験する等々の使い方は、周辺の学校で、子ども国会が行われているyoutube画像に触発されたものでした。</p> <p>私たち以外にも、1期に付き7～8グループからの、多様な利活用計画には眼を見張る発表があり、この千代田区のヘリテージが持つ、SDGsの時代にサステナブルな既有資源の活用のあり方を、国内外に示す潜在力の大きさを実感したものでした。</p>

提出者番号	提出者の区分						主要な意見のカテゴリ						意見の内容
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	区内在住者	区内在勤者	区内法人	卒業(園)生・幼稚園の	関係者(卒業校・幼稚園(園)生以外)	その他	記念品・寄贈品の返却	校舎内部公開	作品や資料の保存・活用	跡地活用	解体反対・校舎保存	その他	
							永田町小学校との関係						
105	○	○								○			<p>旧永田町小学校について今までよく知りませんでしたが、大変良い立地にあるんですね！区内の貸し出し施設は足りていないため、拡充していただけると嬉しいです。</p> <p>特に中高生が過ごせる場所として、音楽スタジオ(複数)、ダンススタジオ、体育館(スポーツ全般)、中高生向けの図書館、茶室、調理室、これらは、小学校の施設を手入れすれば全て叶いそうです。</p> <p>できれば一階は給食Cafeとして営業してもらいたい。</p> <p>立地が良すぎるので売却案の方が根強いかと思いますが、できれば区民や在勤者が利用できる施設のままで有効活用してほしい。</p> <p>売却してしまつては、次に購入することは不可能だと思います。</p>
106	○				○		永田町小学校の卒業生の親						<p>先ずは卒業生に伝えるべきである。建物は耐震を含め劣化しているとの話であったがウソだったのか。国がほしいと昔話があり九段下の土地との交換依頼があったが当時の区議が反対した貴重な資産である。未だ使える様なのでリノベーションをし卒業生の品物を展示したり小学校の所有する歴史的品物を保管展示するのが良いと思う。国への賃貸も可能。不動産会社に委託せず区が運営すべき。</p>
107	○				○		永田町幼稚園の卒園生の親						<p>歴史的価値のある永田町小学校は解体しないで下さい。そのまま使える様に大規模修繕をしてください。</p>